臺灣日日新報 昭和七年七月二十日 (水曜日) 第一万一千五百九十五號 (一)

臺灣新幸民 (夕刊)
(日刊配達) (月極一圓五十錢) (前金一圓四十錢) (郵便物變額種第三種郵便物認可)
七月十九日
夕刊定價一部五錢
臺北市榮町四丁目二十二番地 臺灣日日新報社 (電話本局一七〇五番) 臺中市中正路二丁目 臺中支局 (電話一〇五番) 臺南市末廣町二丁目 臺南支局 (電話一〇番) 高雄市ヘコタカヒルインタウン 高雄支局 (電話一〇番) 東京支局 (電話京橋一一三〇番)

大擧熱河に遠征か 關東軍が重大決意

湯玉麟の出樣如何によつて

錦州軍は出動開始

【奉天十八日發聯合】熱河省境における關東軍憲兵隊四郎氏拉致事件に關し其後判明するところによれば右は湯玉麟の操縱する義勇軍の所業なること現場より發見された死體によつて判明したので、我錦州部隊は頗る緊張し、本日熱河に向け裝甲車を先頭に○個○隊を出動せしめた、今回の事件は第二中村大尉事件として頗る注目され湯玉麟今後の態度如何では關東軍としても大擧熱河遠征の重大決意を固めた模樣で事態頗る急迫してゐる

【奉天十八日發聯合】第二の中村事件たる關東軍憲兵隊託石本拉致事件は其の後引渡し交涉決裂、關東軍愈々重大決意を爲した模樣で、事態頗る重大化した

石本氏拉致事件

【奉天十八日發聯合】石本拉致事件に關し熱河に向け出動した我錦州部隊は熱河軍との間に火蓋を切り目下交戰中との報があつた

【奉天十八日發聯合】熱河省境朝陽寺に著いた我裝甲車と石本關東軍憲兵隊拉致の匪賊と交戰中との報に義州守備隊救援、激戰後敵を擊退した、又錦州部隊より高橋中佐の率ゆる○個○隊も現場に急行目下敵を急追中

【奉天十八日發聯合】熱河出動部隊は既に前線で火蓋を切り、形勢頗る重大化したが、關東軍當局としては尙平和的解決の望みを捨てず極力大々的軍事行動を起すことを避けてゐるので、今や熱河に血の雨が降るか降らぬかは一に湯玉麟の誠意如何にかかつてゐる

遂に前線で火蓋を切る

平和的解決の望みを捨てず

極力大々的軍事行動を避く

【奉天十八日發聯合】石本氏は遼に滿洲國の依賴で十七日北票で熱河代表邵子常と交涉これが報告のため錦州に向はんとすると張學良より湯玉麟に與へた同氏逮捕の密令により捕はれたもので、我熱河出動部隊は既に前戰で火蓋を切つたが尙平和的解決を希望し大々的行動を避けてゐる

【錦州十八日發電通】十七日錦縣發電通信によると石本氏を拉致したのは正規軍と滿洲良の義勇軍の一團で我軍憲兵隊の報に重要書類や重大書信を發見したと傳へられ目下石本氏逮捕の密命を受けたことが判明し我軍は激昂してゐる

張學良の密令で拉致

海軍省に著いた裝甲自動車

上海戰線を縱橫に馳驅し十九路軍を散々惱ました我が海軍陸戰隊の裝甲自動車數臺の中の一臺が十三日午前六時頃海軍省の玄關前に著いた、へ搜くも伏見軍令部長宮殿下の台覽を仰いだ、同車は二時過ぎ海軍省から同國の國技館まで

虎疫◇猖獗

梧棲街に又眞性

合興號船長の葬儀に一炊事手傳に行つた女

【臺中電話】コレラ船合興號船長王維新の葬儀の炊事の手傳ひに行き以來疑似患者として注意中であつた梧棲街の楊杜氏鶯（四三）は十八日夜遂に性コレラと決定した

長い漁撈禁止で困窮する漁師

戸稅の納期が迫つてゐるが結局一ケ月延期か

【臺中電話】臺中州下にては目下コレラ防遏のため交通遮斷を受けてゐるが斷食のやうに漁に出ては收穫なく加ふるに一般人心は何時交通遮斷が解けるかと絶えず戰々兢々たる狀況にあるが、一方七月中旬期分戸稅の納期が迫つてくるので斷�漁師では其の日の口を糊するにも困る有樣であるので州の當局に對し納期を一ケ月延ばして八月二十五日にしやうかとの話も起つてゐる模樣である

臺中の豫防注射

【臺中電話】臺中州下にてはコレラ豫防の日割のもの部には總數何かその日の口を糊するにも困る有樣であるので州の當局に對し納期を一ケ月延ばして八月二十五日にしやうかとの話も起つてゐる模樣である

我が派遣選手羅府に勢揃ひ

第一軍も無事到著我が軍の意氣揚る

【ロサンゼルス十八日發本社特電】本日サンペドロ入港の太洋丸で到著した日本選手第二軍百餘名は盛んな歡迎裡にそれ〳〵宿舍に入つたが、先著の第一軍と合せて既然百六十名以上に及ぶ日本チームはオリムピックが初まり地點のアメリカチームが

當地に 參揃ひするまで

御する勢ひで意氣軒昂たるものがある日本チーム第一軍選手と目を同じうしてファシスト伊太利の代表選手總勢百人名も當地に到著、一萬の在留伊太利人はファシスト一流の總意を發揮し去る九日日本チーム第一軍到著當時に劣らぬ

歡迎振 りを示した。

メキシコ選手五名も同じく到著、フランスチーム及びアルゼンチン

【ロサンゼルス十八日發本社特電】我がオリムピック選手の第二陣女子水上、ボート、蹴球、ホッケー等を乘せた鎌倉丸は十八日午前六時半ロサンゼルス港外に到著、檢疫を終へ埠頭に着き選手が上陸に先ぶ數千の

歡迎の 群衆は一齊に日の丸の旗を打振り君ケ代、萬歳歌

を合唱して出迎へ各選手は最初の感激の眼を埠頭へ注ぎかへすべき言葉も知らず感激の涙を流すもの多く、一行は直ちに山本監督、日本人後援會員の挨拶を受け女子選手を先頭に上陸、歡迎の自動車で午前十時サンペドロ發十一時ロサンゼルス着、日本人團體の歡迎者に送られ埠頭に待つた

總勢百六十餘名

他國チームを壓倒

大會氣分は正に沸騰點

の第二陣フインランド、ポーランド兩國の後發選手も明日我等の仲間で相關いで各國選手の華々しい到著で今や當地はオリムピック大會氣分正に沸騰點に達してゐる

體協の陸上部長高須氏引退

後任は素木博士

【臺北電話】臺灣體育協會陸上競技部長高須時次郎氏は過般來病氣療養中であつたが、遂に今七月十九日午前九時より本社三階にて各商店主を見なかつたが、愈々七月十九日附を以て陸上競技部長を辭任することとなつた、同氏は明治三年一月前任の三菱炭坑の後を受けて就任し、歸來滿四ケ年半太島陸上競技界のために盡せる功勞大きなものがあつた、一面本島體育協會の技術的指導に於ける貢獻も亦少からざりしと、後任は素木博士に決定した

太魯閣蕃に山籠を擔がす

一石二鳥の勝地宣傳協會案

【花蓮港電話】駐在警官の手を經て蕃人に與へられる山籠は蕃人の最も喜ぶ贈物であるが、從來太魯閣蕃人は背負ふ方には無關心であるが、ことは全然出來ないので總て平地より太魯閣蕃人に運搬方を依頼せざるを得ざるある、然し太魯閣蕃人は背負ふ方の勞力を經濟的に計算して多少の賃銀を支拂ふことになり、昨今物價騰貴の折柄とて一般に歡迎の聲高く、從來平地より太魯閣蕃人に運搬方を依頼せざるを得ざるある、然し

殘月譜 (233)

志乃田迪司作
清水三重三畫

豫言（七）

「そなたさまは、どなたさまも、おほほ」
「てるで御座いますよ、おほほ」
「てるさまとは厭りの名」
「えっ？」
「本名を打ち明けなされても宜しからう」
「本名も何も、てるは、てるに御座います」
「む、では、御身分は？」
「御覧の通りで——」
「左樣か、では、聞くまい」
「あの、それも、すっかり申し上げなければならない、今日から——」
「えっ？」
「ほほ、おしも此の家に——」
「それはなりませぬ、いや、それは絶對に生じまじければ……」
「いえ、今に、彼の其の時が參りますわ、あなたさまが繁榮十五圓石の柱になる日と共に、おほほ御覧遊ばせ」
淑やかに軽して、てるは座を確して酌に立ちまつた。

八になれば油へ戻して呉度へありませぬ、どうぞこの無理を通させて下さい」
主婦夫婦は顔顧の目にはこんな事までいふ油の主に幅むのであつた、その時である、油のにある大きな山鯨の鼠狼が風もかぬのに五六尺、鰭のやうに搖つた油の面に散り返んで、小さな波紋を立てた、夫婦にはそれが油の主の納受に感謝のやうに思はれた

×

その家があつた月から廣く依館しやがて女の子を産んだ、名をお龍とつけ其の頃より野て育てた、お龍は鯨の氣もなく、すくくと成長したが左の眼球なことに片眼であつた、然しそれが縁の中子の様であると、夫婦には却つて愛しくもあり餘くもあつた

×

龍州の山際にも梅や櫻が美しく咲き初めひさえ花咲、放せばからむら——そして長堤、花にも似た紅い脈——それは手の中に握てしまつ

漢文 臺灣日日新報 昭和七年七月二十日（水曜日） 第一万一五九九號 （第三種郵便物認可）

漢文臺灣日日新報

十九日五相會議
政府救濟方針決定
關農村中小商工業者金融制度改善問題

十九日東京電。十九日閣議散會後。開五相會議。就農村金融制度改善。中小商工業者金融制度改善。後藤農相。中島商相。說明調查研究結果。決定政府方針。此其所要點如下。限至來二十三日。配布於大藏省。十九日閣議後。一兩日中。將開會議。決定對於答案之大綱。

農村救濟下院各派有志代議士會
決定緊急對策

十九日東京電。農村救濟案議院各派有志代議士會。十八日午前十一時。在院內開會。決定左記緊急對策案週月曜日總會。正式決定。將決定案提示於政府政民兩派中立無產各派。迫其實行。午後六時散會。

▲負債整理及一般金融

一、政府宣制定負債調停法負債整理組合法。貸附資金。

二、政府宣行通貨膨脹政策。使滋水相當同上。

三、政府宣降國債郵貯之金利。

一、宣凍不動產資金化。保障之。

▲農漁山村收益增加

一、徹底土木事業。

二、行肥料之國家管理。

一、禁止生繭買賣。

若槻總裁
赴北海道

十九日東京電。若槻民政黨總裁。二十一日爲出席札幌之民政黨北海道支部大會。十九日午後二時。發上野驛赴同地。

督府地方官
官制改正
樞府本議上程

十九日東京電。樞府將於二十日午前十時。在宮中開本會議。可決左案。

一、審議總督府地方官官制中改正之件。

通山共匪
破壞粵鐵

十八日漢口電。去十一日共匪軍孔荷寵之師。自武昌南方八十哩之通山。到武昌南方四十哩。破壞粵漢鐵路。更擊破在咸寧之第八十五師謝彬。且欲衝

臺展審查委員發表
內地一邊結城和田兩畫伯
特選陳氏進廖繼春兩作家

臺灣美術展覽會。本年依第六回。有如前所發表。豫定來十月二十五日起。至十一月三日。十日間。以臺北市內教育會館（西洋畫）及第一師範學校（東洋畫）爲會場。藉以潤飾十四年歸朝。現在任東京美術學校教授歟。大正十二年文展初入選。法。德各國。同十月一日實施。應與國際手形法相前後。公布于本島也。

同誓白首不果
相率情死
在番仔埔溪橋頭

基隆郡瑞芳庄。鑛魚坑人。現住七堵庄暖ゝ字暖ゝ九三隊氏花。勞年二九。自本年四月。與七星郡內湖庄人現住同番地主新傳。約年二十二。結成不了緣。同誓白首。爲聘金關係。不爲兩親所許。遂起悲觀。相約情死。去十八日午後五十圓。

檢舉僞齒醫
罰金五十圓

新竹州大溪郡大溪街厚店尾金銀細工商溫其順。數日前在斗六街內林部落。現住七堵庄暖ゝ字暖ゝ九。自本年四月。與七星郡內湖庄人現住同番地主新傳。年二十二。結成不了緣。同誓白首。爲聘金關係。不爲兩親所許。遂起悲觀。相約情死。去十八日午後

退職賜金公債交附者中
有需現金者
其公債由政府買上

十九日東京電。前々內閣行政整理時。因軍縮整備而退職人員總數。多至二萬人。政府於去六月臨時議會依通過之法律案。交付退職賜金公債二千五百四十萬圓。以資其退職後生活上之補助。然爲未有不景氣須現金者甚多。政府今回決定以五百萬圓程度之五億由政府買上之。若然則不受市場仲介業等所利用也。

基隆市協開月例會
附議四件

基隆市協議會。七月例會。十八日午後一時半。開于市三樓會議室。附議事項四件。

竹州發出
防疫告示

新竹電。自猩紅熱。侵入以來。州市決格。嚴徹撲滅之策。十六日由州發出告示如左。

一、在竹市水田二〇一番地附近。禁止往來。

二、禁止在市內販賣無消毒果。

三、自竹郡寄港。往南寮至頭前溪口禁止游泳及漁撈。

四、通過市內之圳路溝渠。併其下流一帶之圳水。禁止使用。

新營軟式庭球

既報新營郡下軟式庭球選手權大會。去十七日上午八時起。開於鹽水球庭。參加者代料理代。亦復不盲之川。有志理（一部人云）曾投從選手。陽

花壇白沙坑
交涉點電

彰化郡下花壇庄內白沙坑居民。約數百戶。當古南北通行孔道。就中商店數十軒。爲自動車停留處。有公學校。居民甚希望裝置電燈。近推當地役長。及某教員。就在地殷戶數人。要直接向電力會社交涉。經先到彰化配電所處託代爲斡力云。

採腦中失火
歸時已全灰燼

大湖郡蕃地細道邦蕃社之腦丁林阿傳。所住之腦寮一棟。併附屬住家一棟。計二棟。去十七日早朝六時。出門採腦中。國興社寮失火。悉被燃盡。傳聞損額約千餘圓。

瀛社會況

瀛社例會。此期輪值基隆。組合錄。如所錄報。於去十七日午後二時半開於瑞芳李建興氏宅中。瀛社友而外。臺北大同吟社友。復且吟社友暨當地吟友。約五六十名出席。題擬喪方居雅集。元祖七絕。次唱詩時。金炭。分詠格。五時半。交卷錄呈。調宗酌選。選取前茅三十名。七字叠歌百四十九番地王大賓。年十四。及同地百八十二番地陳長壽。年三十二。去十八日午後四時半當雨中。在同一地二百十一番地田中作業。因落雷感電即死。

一繩畢命

七星郡北投庄暖暖別字圳渡二一五番地林紀氏勤。年三十五。去十六日午前九時。乘家人不在中。在自宅縊死。原因爲貧困云

農夫兩名
被雷擊死

臺北州海山郡鶯歌庄鶯歌字三角湧。農夫陽雁。年二十九。及同庄李木。年三十。二人。十七日午後一時半頃。在自宅前。被雷擊死。

梧棲吐瀉疫
經續發三名
即合興號二船員及葬儀被雇音樂員

既報吐瀉症二名。計十七名。

沙鹿二幼兒
疑患吐瀉症

大甲郡沙鹿庄。宇竹林人。王述池之長男。王腦之長女。王氏若。年四。右兩名。去十七日午前一時頃死去。受清水基醫師死亡診察書。對當局提出埋葬許可願。因疑患吐瀉症。十八日小林警察醫赴同庄。診察病症。雖疑流感。乃將糞便持到州衙生試驗室。培養檢驗中。若果係真症。則吐瀉菌已漫延至沙鹿。於是防疫範圍更要一層擴大也。

少婦自縊
原因夫婦口角

豐原街宇西勢仔人。梁老娶長男樹枝妻黃氏菊。年二十四。去十五日夕刻。因晚飯炊事細故。與夫口角。繼至雙方出手打架。菊心不能甘。乃於是夜十二時頃。在自己臥房鬱梁自縊。已不可救矣。乃報告鄰警察到現場。檢案後。付家人埋葬。聞菊現懷妊四個月。亦可憐也。

新竹
磋商防疫

新竹衛生課。自市內水田。發生虎疫以來。分派巡查。于各處夜以繼。方施豫防。從事撲滅。去十六日午前七時起。在署內外動員。召集市內派出所員。及外勤巡查。開防疫磋商會。十四。去十五日夕刻。因晚飯炊事細故。與夫口角。繼至雙方出手打架。菊心不能甘。乃於是夜十二時頃。在自己臥房鬱梁自縊。已不可救矣。乃報告鄰警察到現場。檢案後。付家人埋葬。聞菊現懷妊四個月。亦可憐也。

保甲大會

出竹市及各署之聯合主催。爲掃蕩猖獗症之蔓延等。舉防疫戒。去十七日下午二時。在市內分作五處。開保甲民大會。入夜駕託市內開業醫。在於鄭氏家廟。開衛生講話。

出差醫治

新竹州衛生課。自十日至十九日。十日間。在苗栗郡苑裡庄下西勢。北勢莊裡。李馬。實施砂眼病出張診治。受診人數按千餘名。最終日映。多宣傳砂眼防治事。

斗六
漢樂發會

既報斗六郡漢樂極榮茶話會創立之市。去十七日午前十時。池田區務課長。村田警察課長。和田警部等。到席。及組合員四十餘名出席。在斗六和念公館。開發會式。開會前村田警察課長代表來賓述祝。池田區務課長代表來賓述祝。組合長胡錦鐘。斗六支那醫師會長朱大鵬。斗六街協議會員陳啓川。斗六街長代理蔡榮發氏。次開會時。胡合長朗讀開會之趣旨。次池田區務課長。村田警察課長。和田警部等。到席。及組合員四十餘名出席。在斗六和念公館。開發會式。開會前村田警察課長代表來賓述祝。池田區務課長代表來賓述祝。組合長胡錦鐘。斗六支那醫師會長朱大鵬。斗六街協議會員陳啓川。斗六街長代理蔡榮發氏。次開會時。胡合長朗讀開會之趣旨。次

臺南州衙不穩文字
眞犯人第一回公判
被中國書籍所誤

既報五月一日勞働日。在臺南州衙入口石柱。用打馬油。書不穩。文字之眞犯人。臺南市東門町人藥種商雇人。袁添財。年二十一。以逮造物損壞。往居住入罪。去十八日午前十時。附第一回公判。由臺南法院。單獨部山岡裁判長。立會開廷。山岡裁判長訊問被告添財犯罪經過。添財答云。余於四月十五日決定書。不認文字。同二十八日下午。赴市內幸町。郎金物店。取回遺人。更製造。更製造。

信組貯金簿改多
抵押詐金被拘審

臺南市開山町一丁目。蔡福氣。年三十。游手好閒。又善揮霍。苦於無資。竟異想天開。以其所有臺南信用組合之存款簿。剩金一圓。而稱改爲三百零一圓。於本月十一朝。託人向白金町三丁目陳辰之妻郭氏好。假金百五十圓以該簿爲抵押。翌云因有急用。通組合未開。乘以預入未久。不欲遽附支出故弊爲假用。竟於薄上支

國家補償法
來春當然施行本島
與國際手形法相前後

兇者延人員及日數等。詳細調查後。于本年度。約以二萬三千圓豫算。計上爲追加豫算。業已通過去六月臨時議會。于明年一月一日實施。應與國際手形法相前後。公布于本島也。

同誓白首不果
相率情死

基隆郡瑞芳庄。鑛魚坑人。現住七堵庄暖ゝ字暖ゝ九三隊氏花。勞年二九。自本年四月。與七星郡內湖庄人現住同番地主新傳。年二十二。結成不了緣。同誓白首。爲聘金關係。不爲兩親所許。遂起悲觀。相約情死。去十八日午後

檢舉僞齒醫
罰金五十圓

新竹州大溪郡大溪街厚店尾金銀細工商溫其順。數日前在斗六街內林部落。現住七堵庄暖ゝ字暖ゝ九三隊氏花。勞年二九。自本年四月。與七星郡內湖庄人現住同番地主新傳。年二十二。結成不了緣。同誓白首。爲聘金關係。不爲兩親所許。遂起悲觀。相約情死。去十八日午後五十圓。

屏東列車轢死少婦
骨碎屍分目不忍睹

屏東警察署。二十七日。午後八時半頃。發潮州驛列車。已離屏東不遠。至善仔埔溪橋頭。忽慄死一青年婦人。現場過。已轢二夫。俱不安於

梧棲吐瀉症
十七名
死三保菌六

梧棲街人李恩。年十三。同李宗來。年三十二。前作五處。開保甲民大會。入夜駕託市內開業醫。在於鄭氏家廟。開衛生講話。

出差醫治

新竹州衛生課。自十日至十九日。十日間。在苗栗郡苑裡庄下西勢。北勢莊裡。李馬。實施砂眼病出張診治。受診人數按千餘名。最終日映。多宣傳砂眼防治事。

斗六
漢樂發會

既報斗六郡漢樂極榮茶話會創立之市。去十七日午前十時。池田區務課長。村田警察課長。和田警部等。到席。及組合員四十餘名出席。在斗六和念公館。開發會式。開會前村田警察課長代表來賓述祝。池田區務課長代表來賓述祝。組合長胡錦鐘。斗六支那醫師會長朱大鵬。斗六街協議會員陳啓川。斗六街長代理蔡榮發氏。次開會時。胡合長朗讀開會之趣旨。次

嘉義
翌明寄附

嘉義縣下。庄長區長級議員。及保甲民大會。入夜駕託市內開業醫。在於鄭氏家廟。開衛生講話。

望納涼賣

全島各都市內業人。合盛一團。各開納涼廉賣會。雖以晚間市況不少。衆者客滿商工會。雖廉賣會。第有名而無實。本年計地雖一樣出大宗貨之顧客。已無望能出。山遠盛況。僅告康健。農商工業者。擬因其名。故各島人商家。成望商業協會。及早開設納涼廉賣會。藉以振生氣死之商界云。

自治部會

嘉義自治聯盟。嘉義支部會。十六日午後三時半起。在嘉義公會堂。開部員會議。報告經過及進行議件。至五時半閉會。七時半。被開謝演會云。

負債自殺

中埔庄頂六分頂中下街二二邱順接。年三十五。去十五日午前九時頃。在自己居前特鳳梨園內。自縊死之商界云。

南投廉賣市
變裝探索
十五六兩日間

南投街設廉賣市。以此間爲嗑矣。商工會及街役場諸幹部。因屆初回試作。極忙于準備。十五十六二日間之變裝探索。狀況如左。

等級 姓名 年齡 住所

一等級 張同坤 鄭氏不九 李文歷 竹中五男 八

二 吳榮松 林氏齊婦 七

三 王猛滑子 六

四 張江彬 吳清維 五

五 簡遊張 後藤薰 四

六 張博欽 郭修河 三

七 蕭新慶 賴鴻猿 二

八 余金水 チエ子 一

九 林輝成 曹國 九

十 陳新友 坂本幸 七

失格 謝氏碧 八

黃隆明 大黑 六

張火達 簡坤康 五

王飛英 カスエ 四

楊氏雲 三

一 田村マツエ 二

探腦中失火
歸時已全灰燼

大湖郡蕃地細道邦蕃社之腦丁林阿傳。所住之腦寮一棟。併附屬住家一棟。計二棟。去十七日早朝六時。出門採腦中。國興社寮失火。悉被燃盡。傳聞損額約千餘圓。

瀛社會況

瀛社例會。此期輪值基隆。組合錄。如所錄報。於去十七日午後二時半開於瑞芳李建興氏宅中。瀛社友而外。臺北大同吟社友暨當地吟友。約五六十名出席。題擬喪方居雅集。元祖七絕。次唱詩時。金炭。分詠格。五時半。交卷錄呈。調宗酌選。選取前茅三十名。七字叠歌百四十九番地王大賓。年十四。及同地百八十二番地陳長壽。年三十二。去十八日午後四時半當雨中。在同一地二百十一番地田中作業。因落雷感電即死。

一繩畢命

七星郡北投庄暖暖別字圳渡二一五番地林紀氏勤。年三十五。去十六日午前九時。乘家人不在中。在自宅縊死。原因爲貧困云

農夫兩名
被雷擊死

臺北州海山郡鶯歌庄鶯歌字三角湧。農夫陽雁。年二十九。及同庄李木。年三十。二人。十七日午後一時半頃。在自宅前。被雷擊死。

嘉義
翌明寄附

嘉義縣下。庄長區長級議員。及保甲民大會。入夜駕託市內開業醫。在於鄭氏家廟。開衛生講話。

望納涼賣

全島各都市內業人。合盛一團。各開納涼廉賣會。雖以晚間市況不少。衆者客滿商工會。雖廉賣會。第有名而無實。本年計地雖一樣出大宗貨之顧客。已無望能出。山遠盛況。僅告康健。農商工業者。擬因其名。故各島人商家。成望商業協會。及早開設納涼廉賣會。藉以振生氣死之商界云。

自治部會

嘉義自治聯盟。嘉義支部會。十六日午後三時半起。在嘉義公會堂。開部員會議。報告經過及進行議件。至五時半閉會。七時半。被開謝演會云。

負債自殺

中埔庄頂六分頂中下街二二邱順接。年三十五。去十五日午前九時頃。在自己居前特鳳梨園內。自縊死之商界云。

南投廉賣市
變裝探索
十五六兩日間

南投街設廉賣市。以此間爲嗑矣。商工會及街役場諸幹部。因屆初回試作。極忙于準備。十五十六二日間之變裝探索。狀況如左。

等級 姓名 年齡 住所

一等級 張同坤 鄭氏不九 李文歷 竹中五男 八

二 吳榮松 林氏齊婦 七

三 王猛滑子 六

四 張江彬 吳清維 五

五 簡遊張 後藤薰 四

六 張博欽 郭修河 三

七 蕭新慶 賴鴻猿 二

八 余金水 チエ子 一

九 林輝成 曹國 九

十 陳新友 坂本幸 七

失格 謝氏碧 八

黃隆明 大黑 六

張火達 簡坤康 五

王飛英 カスエ 四

楊氏雲 三

一 田村マツエ 二

婦人倶樂部

八月號

臺灣各新聞社寄贈

附錄別冊

日本の國體精神の核心

婦人の言葉づかひ範集

新語流行語辭典

日本に初めて出來た言葉遣ひの大附錄

…御覽の通り、この附錄は、非常な苦心と研究、そして作つたのが今度の附錄です。新時代の婦人として、日常の會話、手紙の言葉遣ひ一通り位知られば、恥をかいたり、氣まづい思ひをする事は決してありません。この附錄一冊あれば、社交が上手になり人から稱讚され、從つて一家を圓滿に導き幸福になることが出來ます。又「新語流行語辭典」は日々の新聞雜誌に出てくる新流行語が悉く分ります。…

（第二附錄）新考案 流行型 サロンモヂン 大型實物 紙

▲夏休みの子供の模範的日課畫報（可愛い坊ちやん嬢ちやんの一日の樂しい生活ぶり、御一覽下さいませ）

▲未婚の男女の交際心得二十ヶ條（よき夫を欲しい方、よき妻を欲しい方は必ず御一讀下さい）初代々木子

▲主婦の友として又お勸めできる日焦け止めクリームの拵へ方（長澤郁治）

▲婦人少女用海邊ハーフ・コートとお子さんの爲の母親醫學（醫學博士竹内藏兵衛）

▲小說 戀愛 艮人ある人々……菊池寬

▲小說 不知火物語（畫 伊藤深水）（裝幀 岸田劉生）（題字 横山大觀）僕の結婚（插畫 加藤武雄）

▲小說 靈の使者（畫 鏑木清方）（裝幀 岸田劉生）（題字 吉田白嶺）父と子（畫 吉田白嶺）

▲小說 街の毒草……大下宇陀兒

▲一本の萬年筆が怪事件の發端（一人と可愛い一中學生との萬年筆物語から突如發見された迫デパートの怪殺人事件！）

▲簡單に出來る日燒け止めクリームの拵へ方（長澤郁治）

▲婦人少女用海邊ハーフ・コートとお子さんの爲の母親醫學（醫學博士竹内藏兵衛）

▲安價で榮養の多い家庭料理十五種（前田せう）

▲必ず好きになれるトマトの頂き方（榎内道三）

▲野間會生る……本誌記者

▲大阪一流の十大料理店の季節料理（大阪一流の料理店の調理人が自慢の料理を特別の榮養價で作れる家庭向に改良した洋食の數々を一般の家庭の人々に御紹介致します。）

▲ハガキ一枚で差上げます（當社の新刊書目錄は、自分で讀んで見て正しいと思ふ書物だけを選んで出版してゐます。從つて當社の書物は誰にも出來る限り安價で、而も内容の充實したものばかりです。）

令孃向 奥樣向 各種家庭簡單服の作り方

臺灣銀行

ダンダンは風の妙藥

發賣元 臺信生堂藥房 代理 大阪東區備後町二丁目 大木合名會社 同支店

▲各藥店ニ販賣ス

第二種郵便物認可 昭和七年七月十九日 臺灣銀行

第二種郵便物認可 昭和七年七月十九日 米藤マルヤ二四二番 參照

專賣局臺中支局

七月二日本紙掲載江崎商店大手町三ノ八二ヲ三ノ八二ト訂正

入札 二〇〇〇瓩

大阪商船株式會社

三近海郵船株式會社

大日本雄辯會講談社　東京・大阪・京城・臺北・滿洲・支那・米國

定價 一冊 五十錢 送料 八錢

各帝國大學病院指定常備藥

適應症

胃腸の弱い人
貧血症の婦人に
小兒虚弱症に
榮養不良兒に
病中病後の虚弱
肺結核、肋膜に
姙娠中の婦人に

單味アゼン（一ケ月分三圓）
ヨーキナード（一ケ月分三圓）
コアヤナゲール（一ケ月分三圓）

活動の還泉小冊子 申込次第無代進呈

株式會社 藤澤友吉商店 大阪道修町 B—43

ヨーロルゲン 強補壯血

力抗抵つま

炎暑と共に
コレラ赤痢
腸チフス疫
病等消化器
傳染病の流
行期來る…
此際虚弱者
は勿論壯者
もブルトー
ゼを服用し
て身體諸機
能の衰弱と
疲勞を恢復
し榮養を昂
め斷然抵抗
力を強めて
之を征服せ
ねばならぬ

足を愛せよ 水虫絶やせ

發賣元 堺濱野藥品店

滲透性殺菌力の強い爽快な液劑ボンホリンの使用により水虫、マタグサレの苦惱は一掃されん

【藥價】四十錢・六十錢・一圓五十錢

ボンホリン 水むしに

頭痛齒痛にムラセ

協和六乳

味道純正 滋養雄厚

唯一の完全酵母劑 專賣特許 エビオス

肺・肋膜の治癒を速む

肺結核、肋膜炎ではヴイタミンご榮養の消耗が非常に激しいものです。從て健全な組織を造り出すに必要な榮養が足らぬ、ここになりますから、恢復が長びく譯です。エビオス服用者が早く治癒するのは食慾をすゝめヴイタミンを多量に補給し、その上酵素作用に依て治病力、抵抗力を增大するからです

榮養と治療の二重作用で

胃腸疾患
肺・肋膜
肺結核
發育不全
虚弱・衰弱

に驚くべき効果を擧げ、健全なる體格を造る。

三十三日量 一〇〇瓦 一圓七十錢 一〇〇錠 一圓七十錢 其他各種 全國藥店ニアリ

發賣元 大日本新藥株式會社 大阪市東區北久寶寺町

E5215

父林冠世儀去ル六月二十七日（舊五月二十四日）永眠致シ候處來ル二十二日（舊六月十九日）午前七時自宅ニ於テ葬儀相營申候間此段御知諸賢ニ謹告仕候

男	錫勳	春生	德春
第一男	林	大德	松新
第二男	劉	添旺	王番
第三男	林	比華	黃應時
第四男	王	石山	吳春富
第五男	張	坂莊	黃永盛
第六男	許	梓榮	顏仁榮
第七男	在	士榮	王國祥
第八男	黃	氷桑	潘盛春
第九男	樹	振文	朝比賀
第十男	友人（ハイ）	作文	黃平
代	人	代	代

臺灣日日新報　第一萬一千五百九十五號　昭和七年七月二十日　(水曜日)　(二)　(第三種郵便物認可)

不況と商略萬能の時代

奇智縦横なる者が常に勝つ

一

不況だから儲からぬのか、或は不景気なるが故に却て儲かるのか、この辺のことが現有個人には解つたやうで解らずにある。不況のために暫時的にもつて退嬰し了つたら二度にも三度にも不況が作用し易つて来る。この際は過去の苦い経験に徴しても明かで、このコツをよく呑べて見ねばならない。勿論不況をそのまゝ儲けに迄つ積極的に乗り出さねばならぬ

臺中市で幼兒二名急死し

コレラで無いかと神經を尖らす

目下交通遮斷糞便檢鏡中

南部中等學校野球競技入場式

博奕に負けた中學生が嘘の訴

通學の途中強盜に遭つたと

對岸警備視察より

山内司令官歸澎

新竹州で女給取締り

二人組賭場荒し

高雄州一圓に亙り被害甚大

內二名は檢擧取調中

弱味につけ込む

竹下知事梧棲視察

『死の村』に漂ふ

強い藥品の匂ひ

涙ぐましき防疫員の苦闘

馬公では入港以前檢疫

目下碇泊戎克二十一隻

コレラ恐怖の臺南に厄介物

香港から魚苗三十萬尾輸入

梧棲街六千人の糞便檢査

死にたい男

目的貫徹

列車往生

嘉義電燈の料金値下運動

二十日實行委員會議

岡山、恒春に飛蝗發生す

稻村督府技手出張調査

臺南史料館

內容漸く充實

外人の參觀者等も多い

女子スポーツの豪華版庭球大會

愈々後一兩日に迫る

嘉義で

外遊名士の集ひ

赤崁夜話

屏東小學校で修祓式

嘉義市政第一回委員會

臺中市接客業者疫稼防止射日

臺南州新豐郡庄長會議開催

自聯臺南支部總會及演說會

三泰合資落成

吉野圳隧道を

荒木督府技師視察

新竹州下少年野球大會

溫かい情にルンペン氏歸鄉

臺北市で旅費を與へ

公舘を

監六萬斤を舐める

屏東視察

古谷中將

田端專賣局長展東で歡迎會

納涼大會を當込む無賴漢

臺南署で一齊檢擧

臺南州新豐郡庄長會議開催

臺中市接客業者疫稼防止射日

嘉義市政第一回委員會

屏東小學校で修祓式

赤崁夜話

嘉義で外遊名士の集ひ

料理屋飲食店カフエー貸席規則

死にたい男

目的貫徹

列車往生

嘉義電燈の料金値下運動

二十日實行委員會議

岡山、恒春に飛蝗發生す

稻村督府技手出張調査

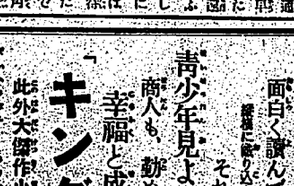
臺南史料館

內容漸く充實

外人の參觀者等も多い

女子スポーツの豪華版庭球大會

愈々後一兩日に迫る



政府の統制案に

總督府主催　商業美術展覽會記念

東京支局扱

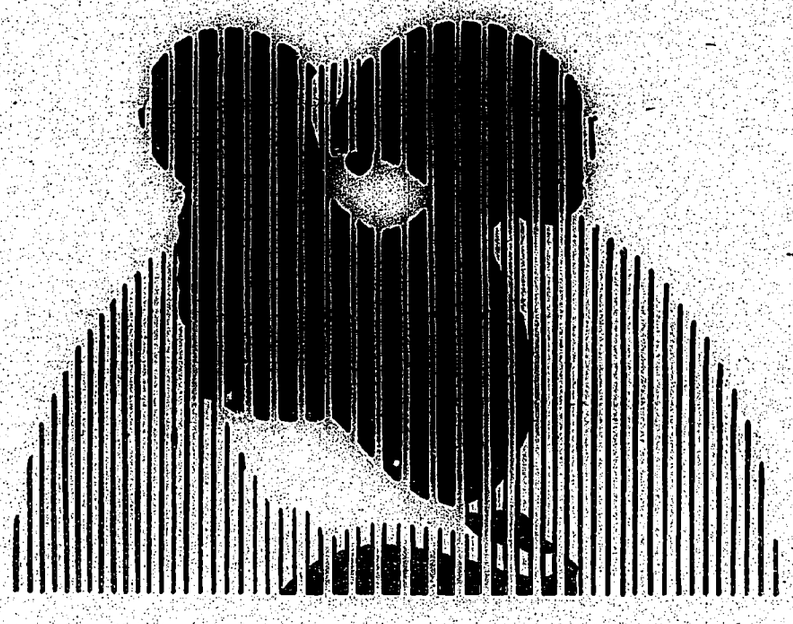
ニッ矢サイダー

サイダーはニッ矢が日本一!!

全國的に信用ある
優秀な天然鑛泉

御用命御名内

ニッネンピール發賣元　日本麥酒鑛泉株式會社



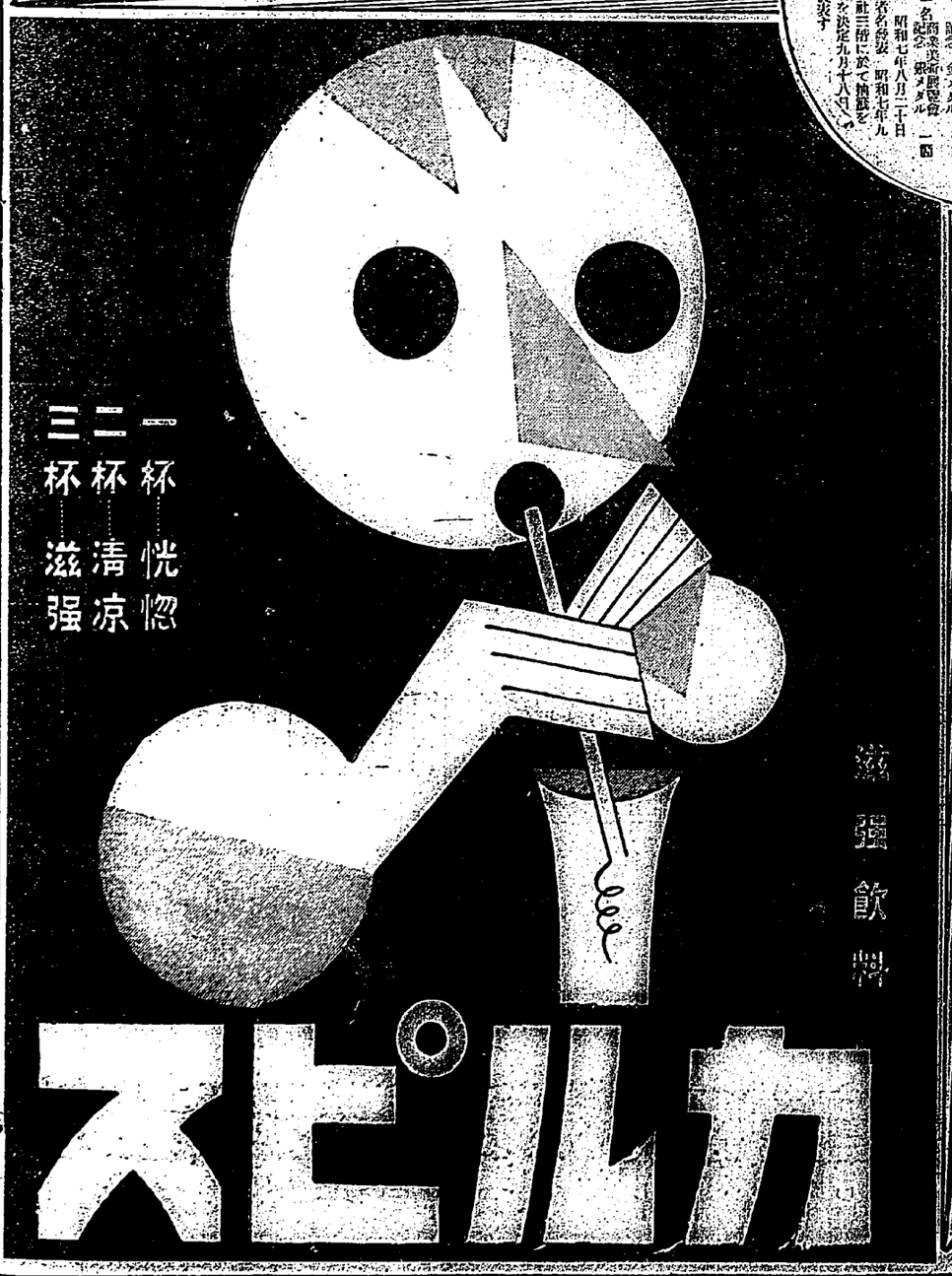
丸ヨ香油

髪は婦人の生命
滴るやうな黒髪に
床しき香をたたへて
淑やかに暮らす
奥さまのゆかしさ
お髪を大切に遊ばすお
方は總べてのおたしな
みのほども二としほと
床しく思はれます
「髪は心の文けのほど」
大切におもちなさらう
と思召すうなら
ぜひ本品の御愛用を
純粋の椿油を精製した
る香ばり床しき最良の
御髪油

東京市日本橋區濱町
本舗　井筒椿芳油店

第一回懸賞

一、本廣告（別に同種廣告を印刷せるポスターを含む）四葉中最も優秀なりと思ふ番號（商品名又は商品名と會社名）を一人二店限り官製ハガキに認めて（數回應募は無效とす）
二、募集期日　昭和七年八月二十日
三、當選者發表　昭和七年八月二十日
四、當選者數　一等一名　商業美術展覽會賞金メダル　一個
二等一名　商業美術展覽會記念銀メダル　一個
五、當選者に對する賞品　一等一名　西洋家具調度會賞金　一圓
二等一名　商業美術展覽會記念銀メダル　一個
六、投票締切日　昭和七年八月二十日
七、抽籤及當選者發表　昭和七年八月十五日本社三階に於て抽籤をなし當選者を決定九月十八日の紙上に發表す



スピルカ

明治チョコレート

社會式株菓製治明

政府の統制案に堂島も立つか

朝鮮は官民一致で猛烈に反對運動

【大阪十九日發本社特電】政府は來るべき第三次議會提出の爲に目下鋭意米穀統制の立案を急いでゐる模樣であるが其立案當局は朝鮮米の統制、米穀法の修正等に就ても考慮中であるが其實行の可能性より觀察しようとする所のものは

臺鮮米の

勿論統制であつて即ちその理由とする所は既に統制外地に於ける米穀の現狀に鑑み之が移入統制に關する法律を制定し以て内地米穀の保護を圖らんとするものの如くである、政府が現在に於てとり得る最善の政策としては之位手早いものはないと考へるの外なき點であるが、それ程迄して米價を維持し農民を救濟する必要が何處にあり又何の爲に朝鮮米と敵對するかの點に就ては政府當局の説明を俟つ外はない、此の點と臺鮮米との關係

反對運動の勃發

政府は斷然之を壓迫

米穀商組合代表が

格付改善の陳情

◇……各關係筋の意見

【臺北五州米穀商組合聯合會】二行七名は既に決定した内地米の等級格付改善に關する陳情の爲め十九日午前九時二十分發の列車にて出發した、一行は同日午後三時頃臺北驛に到着する筈

須田課長　談

【臺北十九日發電通】十九日午前

東京爲替市況

【臺北十九日發電通】

商業美術

―バリエテー(A)

廣告祭の話

その歴史と意義と

(Aの二回目)

近代的廣告

廣告合理化

臺灣日日新報

臺北州米穀商組合聯合會

反對運動の勃發

臺鮮米の

米穀商組合代表が

格付改善の陳情

◇……各關係筋の意見

須田課長　談

東京爲替市況

約十萬甲歩を割いて

本島に棉花の栽培

米蔗一點張りの不可に顧みて

殖産局で豫算要求

臺糖の買蔗價格

奬勵規程は殆ど前期と同じ

産金買上指定業者と

買上値段日銀に通告

原料糖値上

前同より一圓五十錢上げ

海底電話可能となる

全國水産主官會議

生産の合理的操短を行ふに決定

磐城洋灰社債

臺灣日日新報

基隆水産商船講習所

有力者を糾合して設立運動

機運愈々熟す

高雄在庫米

基隆在庫米

東京短期

東京長期

東京期米

神戸期米

大阪期米

正米市況

大阪短期

大阪長期

堂島兩建控除除含

堂島前場先限兩建

控除生なる手振

穀肥

シカゴ小麥

公債

東京國債

砂糖

大阪清算

絲況

大阪綿絲

大阪棉花

橫濱生絲

爲替

米日爲替

米英クロス

神戸日米爲替

銀塊

倫敦現銀

大阪現物

玖馬

神戸市中相場

大連特産

臺灣日日新報

ツマイ　専賣特許

蠅の全滅法

セーラーパンツ

粉取蠅紙

黒印

若返リ

背髄病

神経痛

リウマチス

骨膜炎

性慾調節　**卓操保護妙器**

ランソウ女

カタマリ

シオエム印ゴムバント

靴下止メゴム輪ノ糸ゴム

村林ゴム製造所

美和商會

食料、紅、青、黄

飲料用色素各種

富部伊助商店

ラヂオ・ホール

今日の番組

J・F・A・K　七月二十日(水)

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ、(臺北のみ)臺北測候所發表
【六・三〇】初等科英語講座第五回　三好清記
【七・〇〇】夏休み小學生圖書時間　相小學校　西光寺　僧侶
【七・三〇】四年生の時間　(臺北)小學校教員三次
【八・〇〇】家庭百科問答、お晝の獻立について　木村　菫恵
【九・三〇】臺灣音樂
【午後八時三十分】(臺北)
▲札　幌
【臺北門】(一番)　指揮　林成金　演奏　江山樓樂團
夏休み小學生復習時間
【午前七時より】(臺北)
▼一、二年生の時間　相小學校　西光寺　僧侶
▼四年生の時間　鹿門小學校　鹿原　主夫
【午後六時三十分】(臺北のみ)
▲出し物未定(第一部)　木村　菫恵
曲目未定　蓄音機レコード　指揮
佐藤英子さん獨唱第一回の放送で四年振りの放送であり、故松平里子夫人や、内田嘉一氏等と共にヴィオロン・ファを組織して放送に大に苦心したが、いよ〳〵各々腕をかける事の出來る樂器の名手で而も複雑なユーモアたっぷりの語り振りは納得の一挿として一部の傑作があら、どんな話が飛び出すか同氏の噺とで樂しみに出來ない(宮崎は小澤氏)

趣味講座(臺北)

【午後時三十分】
美術漫談
小澤秋成

小澤氏は二科會の重鎮として、つい先年までは米國に永い間ペンを揮ふた人で、歸朝後は二科會の總會の席上で會員に推薦されて會員となり、その後引續き審査員にあつて傑作に精進してゐたが、臺展の審査員として和田三造氏と共に來臺した點は周知の事であるが、その

午後の部

【〇・〇〇】放送局報告ニュース　【〇・二〇】レコード演奏(臺北のみ)浪花節
【〇・五〇】正午の時報　氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表
【一・〇〇】臺灣日報ニュース　【一・一〇】實業時間(レコード)
【一・二〇】株式市況(臺北のみ)
【一・三〇】婦人と家庭(臺北のみ)
【二・〇〇】講演、(臺北のみ)
【二・三〇】子供の時間(臺北のみ)童謡とオルガン獨奏、城南幼稚園▽獨唱「僕のうた」「マリの歌」「八百屋の店」(小さいお庭)▽オルガン獨奏「ハンガリー民謡」(石川タカ子)▽獨唱「ひよこさん」「お庭さき」「雨だれポツクリさん」▽オルガン獨奏、この笑はしき花を召せ」(ベルスリー作曲)(石川タカ子)
【六・三〇】子供の時間(臺北のみ)ピーモニカ獨奏、齋藤一郎
【七・〇〇】夜の部へ

夜間の部

【七・〇〇】獨唱と管絃樂(東京)佐藤英子、日本放送交響樂團ニコライ・シフエルブラット指揮
【七・三〇】正調追分節(臺南のみ)
【七・五〇】洲崎遊廓(東京)
【八・三〇】一原木村眞砂
【八・五〇】臺灣音樂北管「醉宮門」一部、獨奏、林成金、吉岡獅、伴奏、江山樓樂團
【九・〇〇】講演「國士末松」石原莞爾
【九・三〇】時報、氣象通報、臺北測候所發表、各日ニュース(臺北のみ)放送局報告ニュース(臺北のみ)公衆無線電報、明日のプログラム發表
【九・四〇】ラヂオ體操
【九・五〇】明日の天氣豫報、尺八、今井琳賀
【十・〇〇】放送終了

曙光

生方敏郎作
中野修二畫

大川端(二)

いや大きだ、爺好のわる、獨利だとは思つたが、母子のお稚がうれしいのと、酒はたしかに良い酒だつたし、歩いてさて喉がかはいてゐたものだから、登田はいつになく感じて、二、三杯を呷もつか呑まずに、

「大へん、おいしい組ね。」

「即ちやんのお酌だからさ。」

「さては世辞を使ふの？」

「否も、世辞はいやらない？」

と、登田は試みに杯をおいてみて他にもう一つ酌は酌につてゐたのだが、自分の吹しに盃をさした。

「いただくわ。」

と、母子は徐ろにそれを輕く受けた。今では登田がうれしさうに手を伸ばし、獨利をとつて、ついでやつたが、あまり波々とついだので、酒はあふれて盆にこぼれた。

「今から手元が狂つちやあ困るが、今夜はもうひとり酔ふに。」

「お酔がいいのでね。」

「さうだ。たしかにさうだ。これまで二合や三合の酒で、酔たことなんかないんだから。」

すすきの洗ひと、銀のきもの吸ひ物が運ばれた。

その酷い吸ひ物が艇へとほると、

登田はしみこむやうに、酒の旨さを感じた。

目はとつぷり暮れて、點燈の家家の灯が美しく川の上の闇を彩つた。船の通ふ音の聲も、時々聞かれた。

「ここは氣に入つた。川を眺めにしてゐるから、月があつたら、すてきだらうと思ふが、やみの夜も悪くはいい。ただこの窮がこんなにだだつぴろく、遮ぎり込みでないといいんだがなあ……さうして即ちやんと、二人差向ひといふ法だと……。」

「それこそ、御合憾よ。」

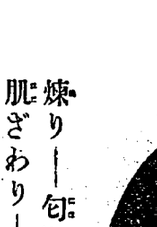
母子が時々こんなマセた物の言ひ方をするのが、登田には可笑しくもあり、また、いつた感覚があるのだ。

「即ちやんは、何にいつた感覚がないけど、およその想像はつくわよ。」

「ここは隅田の支流、作家だから」

「まあそんなことを。私作家にな

【午後六時三十分】(臺北のみ)
▼童謡とオルガン獨奏　城南幼稚園
一、獨唱「僕の歌」
(一)僕は大體丈夫です　よく寢て起きてよく遊ぶからお菓子はあまり食べぬから　(二)僕は拉き蟲大嫌ひ　何でも食べて何んでも喰ます　我ままなどは云ひません　(以下略)
二、マリの歌
私の圖はまんまるい　お月さんのお顔によく似てるつけばトン〳〵上ります　なければ遊べへ飛んで行く　(以下略)
三、八百屋の店
八百屋の店はきれいなお店　さいた〳〵さいた　(以下略)
長い胡瓜、お菘、蕃薯草　八百屋のお店はきれいなお店
四、少さいお庭
少さいお庭よくならして　可愛いい種をまきましたら　お日樣ニコ〳〵笑つて誘め雨にしづかに水をまいた　(以下略)
五、オルガン獨奏
石川タカ子先生の獨奏で曲は　ハンガリー民謡です
六、ひよこ
ひよこがひよこがあそんでる　コロ〳〵ころがる後に　おやのまほりをあつこんとんで　うれしさうにあそんでる
七、お庭さき
後のお庭のお庭さき　さいた〳〵さいたのね　赤のうれしい時にでも　私のかなしい時にでも



コドモノ時間

【午後七時より】(臺北)
▼童謡とオルガン獨奏　城南幼稚園
一、獨唱「僕の歌」
(一)僕は大體丈夫です　よく寢て起きてよく遊ぶからお菓子はあまり食べぬから　(二)僕は拉き蟲大嫌ひ　何でも食べて何んでも喰ます　我ままなどは云ひません　(以下略)
二、マリの歌
私の圖はまんまるい　お月さんのお顔によく似てるつけばトン〳〵上ります　なければ遊べへ飛んで行く　(以下略)
三、八百屋の店
八百屋の店はきれいなお店　さいた〳〵さいた次根赤い人參

獨唱と管絃樂

【午後七時より】(東京)
佐藤英子
日本放送交響樂團
ニコライ・シフエルブラット指揮

俚謡など

【午後九時より】(臺北)
石原貞女
一、二上り「ほっ」
(イ)前の穴から伊名が見つに、云

正調追分節

(臺南のみ)
【午後七時三十分】

何時でもピカ〳〵光るのね
八、雨だれポクリさん
雨だれポクリさん　ポクリコ　ポクリコ　指子をそろへてポクリコ　(以下略)
九、オルガン獨奏
最後に又石川タカ子先生がベルスリー作曲の「この笑はしき花を召せ」を獨奏します

▼ハーモニカ獨奏　齋藤一郎

臺展一部入選者の作品中、臺北の圖畫にゐる數點を選んで、臺北の圖畫にゐる數點を選んで、臺北の圖畫にゐる數點を選んで

臺北帝大に醫科設置是否論でやかましく論議

臺北帝大に醫科設置の要望は折にふれ時にふれて聞えてゐたが中川總督の臺北市内各官衙巡視に際して堀内醫專校長は此の問題について改めて陳情するところがあつたが、此の事實が當日の臺日夕刊に依つて報道されるや、是れが動機となり、醫科設置論者に對して尚早論者も現はれ、今やその是否論がやかましく論議されるに至つた

醫科の設置は一石何鳥かの名案

研究、治療、教育機關充實の要望論者 堀内醫專校長談

臺北帝大に醫科設置の急先鋒である堀内醫專校長は醫科設置論の理由について次の如く語つた

現在我が國では醫師はなるべく大學教育を受けた者を以つてこれに當てると言ふ方針を採つてゐる、此の方針を取り續けるとすれば、臺灣にも醫科大學が必要だと言ふ事になる、現在臺灣では醫院數が圖合かすれば内地よりも遙かに多い、それにもかかはらず醫師の數は内地の人口一萬人當り八人に比して臺灣では一萬人當り三・五人で内地の半數にも及ばない、一面も古くからある漢法醫は年々減少するにかかはらず醫師の養成は一定であり一方人口は年々十二萬人を增じてゐるから人口當りの醫師數は益々減退の一路にある、又臺灣は千分の四圓、五と言はやうな世界でも珍らしい程大きな出所率も示き、其の反對に死亡率も非常に小さい、人が死れるにしても死ぬにしても、何れは醫師の手をわづらはされねばならぬのであるから、出所率死亡率の大きいと云ふ事はそれ自身で既に多數の醫師を必要とする事である、それにもかはらず臺灣に醫科大學がないから醫師養成の爲めに内地から招聘しなければならぬと言ふ現狀である、臺灣に醫師が少なく而も多數の醫師を必要とする理由があるので、此の際大學に醫科を設置して其の必要を充し、又臺灣に生れ臺灣に育ち、臺灣に依る人々に職業を與へるがいいだらう、臺北帝國大學の卒業生の狀態を見ても理由は始んど醫科を志望し、理甲の内にも非醫科着想の者が多いのである、從つてこれ等の者は皆内地に行き就職地獄に苦しめられるのである、本島人方面の傾向を見ても醫學校の文科を希望する者は極めて少く、理科は稍々多いが醫學校更に多く内地人本島人の生徒が各半々と云ふ狀態である、而もこちらで收容しきれない有樣だから内地の設備の行き屆かない私立醫學校に行く者が多數現れ、それ等が相當醫師となつて歸つて來るのだからやりきれない、それに臺灣は風土其の他が内地とは全然異り從つて夫れの研究は内地に於けるよりも一層必要である、又臺灣の醫學は内地の模倣であつてはならぬ獨特の研究が必要である、此の點に於ても醫科大學の必要を感ずる

漢文 臺灣日日新報

地方長官會議第二日
山本內相訓示要旨
有案亂公安秩序者懲之

十九日東京電。地方長官會議第二日。內務省所管。於十九日午前九時。在內務省會議室開會。山本內相。大要訓示。說如左。

夫振作敬神崇王精神。培養國本之事。於現下情勢。最爲緊要。這般事變。派遣將兵。競奉宸忠報國赤誠。國民協力後援。乃皇國精華敬神崇王精神之自然發露。今後當使民心。愈發振作。此健實性。切望一段努力。綱紀振肅地方諸政之更新。乃國民一般要望。即一、當地方行政當局。須以嚴肅公明。進廣公利公益爲念。不可偏於私情黨派。

二、地方施設經營。宜期到攻究。勿貽後日之累。

三、地方長官之事務管理監督執行使。當期愼重公正。

四、人事行政。乃諸政根本。最宜嚴正公明。

五、警察官吏。勿偏於一黨一派。勿失公明中正。

現值乘火之秋。人心動搖。浮華荒意。甚作奇。惡過激言辭。紊亂公安秩序。實堪憂慮。社會運動之發生。關時勢推移。對此宜常以十分之理解判斷。達觀其趨向。窮究眞相。洪於健實忠正。然萬一運動流於矯激。脅威國家社會平和。則宜嚴重取締勿貸。苟有不逞言動。則不論其主張如何。動機如何。斷乎處置。以維持治安也。

拉致石本氏
乃受學良密命

十八日錦州電。十七日拉致關東軍顧問石本氏。乃正規軍及張學良之談判軍一團。調查書類。知彼等於十六日受張學良密捕石本氏密命。我軍爲之激昂。

我軍抵朝陽寺
八方搜查且防敵匪

十八日錦州電。十七日錦朝線南綫。被匪賊拉致之石本權四郎氏。欲爲搜查奪還。我○隊於十八日午前十一時。抵熱河省境朝陽寺。八方搜查。且防匪賊襲來。又錦州○團古岡參謀。急遽發錦州。指揮搜查隊。向北票去。

退役少尉
日俄役從軍
熟悉熱河地理

十八日錦州電。被拉致之石本權四郎氏。乃退役步兵少尉。曾從軍於日俄戰役。在滿州活動。精通熱河地理。今回事變後。在遼西活躍。盡力於北票錦州間列車之開通。

電告兩三日中
欲放還之

十八日錦州電。石本氏交還之事。十八日在北票之熱河軍憲兵隊長王德麟。打電於當地司令部。將石本氏當於兩三日中交還。我軍慶之。

學良以飛行機
擾亂人心
奉天發飛機

十八日奉天電。最近張學良。對山海關熱河方面增兵。一方以飛行機。撒布滿洲國反對之宣傳單。又謠言張學良於兩三日中交還。我軍當於兩三日中交還。我軍慶之。

退役少尉
日俄役從軍
熟悉熱河地理

十八日錦州電。被拉致之石本權四郎氏。乃退役步兵少尉。曾從軍於日俄戰役。在滿州活動。精通熱河地理。今回事變後。在遼西活躍。盡力於北票錦州間列車之開通。

電告兩三日中
欲放還之

十八日錦州電。石本氏交還之事。十八日在北票之熱河軍憲兵隊長王德麟。打電於當地司令部。將石本氏當於兩三日中交還。我軍慶之。

學良以飛行機
擾亂人心
奉天發飛機

十八日奉天電。最近張學良。對山海關熱河方面增兵。一方以飛行機。撒布滿洲國反對之宣傳單。又謠言張學良於兩三日中交還。我軍當於兩三日中交還。我軍慶之。

臺灣地方行政
改正要綱決定
廢止郡制實施

臺灣地方行政改正要綱。已經臺灣總督府評議會之審議。決定如左。

一、廢止郡制實施。

二、廢止郡制實施。

三、廢止郡制實施。

四、廢止郡制實施。

五、廢止郡制實施。

臺灣地方行政
改正要綱決定
廢止郡制實施

臺灣地方行政改正要綱。已經臺灣總督府評議會之審議。決定如左。

一、廢止郡制實施。

二、廢止郡制實施。

三、廢止郡制實施。

四、廢止郡制實施。

五、廢止郡制實施。

殖產局長
視察養苗所

殖產局長。兼同吉良技師。視察本南庄後里庄兩養苗養成所。顧問農士本年一月四日。俱蒞新竹州。當局從速刻倒。佛領新芽而新芽發育極旺盛。雖蓬身不齊。而分蘗異常旺盛。於採苗上。極爲好結果也。

大南庄養苗養成所。罹災工事。甚見進步。對移地準成二百四十甲。現在完了。次議人權費一多。欲縮少之議。定昭和八年一月中之臺灣總督時。對會員三百通常總會時。昭和七八年期中當三十國者。八九年期。減五圓云。

基仁濟院分院
將巡迴村落

既報臺北仁濟院。自去六月二十九日。於基隆博愛園設分院。從事於施療。開設後十一日間。施療患者百七十九名。施療患者。九十名。合計二百六十九名。此後對市內稻連村落。將施巡迴診療。目下於當局計畫中。近將實現。村落鄉民患者。不能到分院受診者。當大得便利云。

南部地瓜簽
失收價騰

臺南州下地瓜。因今春霜害。發育阻害。失收三分。五成。日下已全部收穫。常年收穫約十億萬斤內外。本年幸栽種面積增加。約收成七八億萬斤。而島內外需要。約二億萬斤。而島內農家食料。內地方面。因價格不和。概未移出。約總製造額一成。故本年移出豫想。約六七百萬斤。現下時價。在產地驛頭。三圓七八十錢至四圓。較前年。約倍三倍。與穀價百斤四圓二三十錢。相去不遠。本年失收若干。農家皆豫料價格再騰。故目下雖迫於稅金納期。均不願賤售去。

臨時徵稅出張所

既報瑞芳。本年度前期營業。竝雞稻稅之徵收。爲圖一般利便。在左記各村落。

時評

○

國民自力。更生運動。不外開源節流。然而好景氣當時之賦課。至今尚未降低。減則無以緩和之也。

○

他如資本機構之改善。所以促資本機構之改善。所以促國民自力更生。

○

北律窖之物資及勞力。移入美國。美政府以北島。同屬國旗誌下。雖明知受其壓迫。不敢反對。或加以制限。況我國之對新館正係來證是一親同仁之心。誼有制限。當鮮來移入之理中川總督之自信所。無此非必有相當之根據也。

○

農林大臣。爲臺灣之過係。臺展審查員。新加入陳氏。

見新郎病倒
過門即逃歸

新竹郡香山庄茄苳。湖陳某之次男江德年二十。病傻。隆然。最近晃晃。與陳庄中疑人范某之女名招治者。締婚。范家不知婚病。亦遂許之。去十四日迎娶。女覓見新郎形狀。即心生厭惡。乘隙逃歸。翌朝陳某心甚不悅。到媒家厚責一番。云不日將向州請民事調停。取還聘金云。

臨糖會社
岸內工場
獎勵規程發表

臨水港製糖合社新營及岸內兩工場。昭和八九年期甘蔗栽培獎勵規程。經去十四日發表。原料買收價格。千斤二圓七十錢。制增金三圓四十錢。栽種獎勵。自七月至九月者。千斤三十錢。自十月以降者二十錢。而耕作資金貸付肥料。調製貸與。及甘蔗刈取順序。並收穫法。與昭和七、八年期無異。聞昭和九、十年期。苗圃獎

英國系炭進出南華
炭輸出激減
順炭侵入壓迫島炭

本島石炭界。自客秋日華事件勃發以來。輸出大減退。不況益深刻。炭礦主爲採算。不和盤。至有歇業或休礦者。聞有不忍坑夫失業之失業。繼續探炭者。試觀本年一月至五月。本島炭輸出額。僅有五萬九千。百七十二噸。僧四十七萬八千六百九十二噸。比昨年同期。激減九萬九千二十三噸。七十九萬三千八百二十三圓。本島炭輸出地。主爲南華及香港。平時例年。約三十萬噸。然觀本年一月以來之輸出狀態。本年中按只爲十三萬噸。不滿年之半額。然本島炭輸出激減之反面。英國系炭。及婆羅洲炭之侵入南華方面如廣東香港等處。最近南阿之那遠能炭。亦對此方面。開拓消路。盖英國系石炭。異常進出。又中華之排日貨。不啻盛潤炭之受影響。如因輸出激減。相關聯。炭礦主之苦痛。暫味無繼續。而輸出額。亦不免減少也

瑞芳砂金
採取被詐
被害者宜蘭人

近來瑞芳溪之砂金採取熱。達於高度。又了此舉。鉱則水淵即係上。更加一層熱鬧。聞採取人。又遠自宜蘭方面來者。就中不少有年經驗之人。如宜蘭人王

密賣阿片
拘共犯三名

故兒玉總督。三回忌辰大祭。訂來二十四日午前十時。在圓山臨濟護國禪寺。舉行法要。是日中川總督臨場。則諡弔詞。其他阿部軍司令官。總務長官。警務局長及民間有志。均參列席云。

久病厭世投水

嘉義市埤子頭人陳不枝。年二十四。去十七日午前八時頃。投身於同所生簡廟前養魚池而死。原因聞爲久病厭世。

兒玉元總督
忌辰大祭
廿四日舉行

故兒玉源圓將軍。第二十四回忌辰大祭。訂來二十四日午前十時。在圓山臨濟護國禪寺。舉行法要。是日中川總督臨場。則諡弔詞。其他阿部軍司令官。總務長官。警務局長及民間有志。均參列席云。

瘋疾難痊
厭世自經

七星郡沙止街康諳。年二八不詳。去十八日午前十時。在家中自縊死。因精神慌惚。

虎疫猖獗
復發一名

既報台與號船長王雞新舞榛時。發病似虎疫患者。去十八日晚。已決定爲虎性吐瀉症云。

久禁撈漁
漁民無以納稅

梧棲街。現爲防遏吐瀉症。遮斷交通。而昨今眞性犯者續出。何日得解除交通。者不得知。一面七年度前期。分戶稅。納期迫在目前。街役場及郡當局方攻究對策。又該街漁民因久被禁止撈漁。收入皆無。窮于糊口。不能納稅。故今期戶稅。有希望納期延長一箇月間者云。

臺中豫防注射

臺中吐瀉症豫防注射。去十九日午後一時。集市內接客業者百五十名于警署訓示宣。由松村署長。就豫防注射及虎疫豫防。訓示一場。又同日前。先對署員豫防注射。後對市內四市場內商人及從業員。亦同樣注射云。

三棧溪附近
本社支局
設休憩所

本社花蓮港支局。欲圖赴三棧溪探勝及水泳者便宜。兼求花蓮港及研海支廳等援助。在三棧溪附近。建築休憩所。去十六日竣工。翌十七日供一般休憩。又昼由勝地宣傳隊會。開幕三棧橋至蕃社探勝。自動車道路。因鑑大雨線橋附近急坂。市要擴張三四尺。爲急應土木係。今實地調查結局。按擬張一間。訂來二十日。與交通局道路港灣課交涉後。著手工事云。

梧棲吐瀉疫蔓延
臺北州努力豫防
撒布傳單促州民自覺

臺中州下梧棲吐瀉疫。有如前報。經過雙三名。且有發逆之兆。該州極力防遏。而島都之臺北州。亦深恐病菌侵入。努力豫防基隆港務部。嚴重檢疫出入船舶。基隆署。亦自十八日起。至八月一日。施行檢防注射。該州且於去十九日。撒布宣傳單。以促州民之覺醒云。

臺北市施行
豫防注射

臺北市役所。因梧棲吐瀉疫流行。市內雖無發生。然爲防未然。決定自本二十日起。至月末。施行豫防注射。其日期及場所如左

▲南署管內　二十日夜間　文武町。大同會事務所。同上。樺山町。御成町。

▲北署管內　二十日夜　大正町二丁目某甲。

斗六街兩日
街協懇談會

斗六街。被來月中。欲開臨時議會之協議事項。故先于本月十九日。召集所在地協議會員。同二十日。召集所在地外之協議會員。開懇談會。于斗六街役場。留置室。懇談事項如左。

一、參加國政府。以十月末迄滿期。軍備休日協定。

一、更約延長四月間。

一、關人員。重砲、航空、豫備各縮減。意見對立。成文中存置空白。容後以報告形式證明。

一、木決議案之主要目的。在宣明現今聲的武器。法拡張減。戰車單位頓數減下。科學戰。細菌戰。爆發戰之禁止。常設軍縮委員會之創設等。將來軍縮。現爲基礎之具體的合意。于本會議開。

斗六柴裡埠管理人
被殺後再選新管理
去十七日開臨時總會

既報十六街九芝蓮保正林後一氏。召集埠內區長氏。氏被殺後。其管理人選。於九芝蓮役場。開臨時總會。協議結果。

嘉義鷗社
發施療券
八月起一年間

悩近不況。殊如嘉義。山農產。每年出產莫大。自昨年來。除失卻以外。又不能檢出大阪。居民苦痛。無以名狀。貧病久。無力就醫者。指不勝屈。

收入減少

不景氣甚甚。商場閉館。五六月間之商稅。較收入。比前數年。遠有減半之際。五月分者一、二四〇四〇一。百九九四四六。其他二四四五。計二、二六。四七。六月分者一、二四四〇九。其他二三四四六。計二、二九。四七。

飲酒睡去
墜落慘死

臺北市本町二丁目三十三番地紙商本田喜一之雇人。今福正次。年二十五。去十八日夜。飲酒後。橫臥於三階窓間。忽沈沈睡去。至十九日午前二時。驟落死。

軍縮會議結末案
英美法意見一致

十八日臺府電。軍縮會議。欲立何等面目。以爲第一期會議之結末。欲得參加國全部贊成。奔走于決議案作製。蔡文英外相。鳥于英法之意見。經種々折衝。結局將問題中心之前文。修正爲左記之抽象的。英美法間。始見一致。

決議案前文

聯盟軍縮會議。以世界各國。爲促進世界平和益強固。經濟活動復舊。輕減國民財政的負擔。不得不採用實質的且廣範之軍縮諸法。時期已屆。深爲確信。且熱望各國々防。回避爲破滅的脅威之軍備競爭。于茲以鄭泰宣言基調諸方針。于共同之下。實行世界軍備實質的縮少。且依一般的約束。對陸海空軍々備。同樣適用。此則即時竝全員一致決定。

決議案本文。尚存字句修正。大綱如左。

一、參加國政府。以十月末迄滿期。軍備休日協定。

一、更約延長四月間。

一、關人員。重砲、航空、豫備各縮減。意見對立。成文中存置空白。容後以報告形式證明。

一、木決議案之主要目的。在宣明現今聲的武器。法拡張減。戰車單位頓數減下。科學戰。細菌戰。爆發戰之禁止。常設軍縮委員會之創設等。將來軍縮。現爲基礎之具體的合意。于本會議開。

瑞芳傷組役員會

瑞芳有限責任。信用組合。去十五日午前十時半起。招集理監事。在瑞芳庄役場會議室。協商該組合創立十週年記念之行事。及討議期限。經過貸付金回收整理。件數計三十三件。總金額一萬五千三十九圓八十三錢。其中只有拖保四件。各役員熱心講究後

強盜風聞
捕嫌疑者取調
云是詐欺賭博

新高郡台中三塊厝部落民的。去十五日午前十一時頃。在高雄市三塊厝公學校前之甘蔗畑附近。有一村老。紙銀行領出金百餘圓。三強盜。奪去百餘圓。爲足署山越刑事。即極力搜查犯人。午七日午後九時。在鹽埕町市場附近。捕一名。現在署內。嫌疑者。年三十。大阪府人。

奸人藉持齋
謀財謀色
事發搜家

臺南市新町二丁目某甲。年過知命矣。藉持齋爲名。招張其翻。連妙子。謂張精神錯亂。能一郎右鬼。著

南投

郡守會議

南投街年頭初人。司法代書人王飛英氏。著番薯選爲庄丁園長。其家庭八十餘名。十月十三日午後六時。設宴於醉仙亭。慶民閱就賀者。飛英氏道謝。遺飯有夜梁監餐。

收入減少

不景氣甚甚。商場閉館。五六月間之商稅。較收入。比前數年。遠有減半之際。五月分者一、二四〇四〇一。百九九四四六。其他二四四五。計二、二六。四七。六月分者一、二四四〇九。其他二三四四六。計二、二九。四七。

雨詐漢送檢

殺私生子
野鴛鴦被拘

東石郡朴子街暱母。將人張陳氏。年過不惑。索券不消。與隣村某前保正謝參結露水緣。自客歲以來。種下孽胎。由是腹大如甕。日前產下嬰孩。恐人知覺。爰是。姦夫姦婦。共謀殺害。埋葬屍體。事經數日。張陳氏與其媳婦不睦。被媳婦露出其事。當局聞知立暦。公學校前之甘蔗畑附近。有一村老。紙銀行領出金百餘圓。三強盜。奪去百餘圓。爲足署山越刑事。即極力搜查犯人。午七日午後九時。在鹽埕町市場附近。捕一名。現在署內。嫌疑者。年三十。大阪府人。

青潭觀瀑
左高隆逸選

左九學三

德高紹上流流泉。千尺飛滿落九淵。恍似香爐峰對望。所詩句愧李青蓮。

右九永順

遙看德紹朝煙。浪々飛泉挂洞天。一例如同三峽水。倒流直到碧潭邊。

左十仰山

雲潭驟首德高前。青峰中分組練懸。我笑朝朝忙底事。出山爭及在山年。

右十抑雲

幅壁蒼苔掛半天。寒泉旁念一條懸。銀河洞口青潭上。如見飛龍欲墜淵。